

睡眠時無呼吸症候群における早期脳画像診断と罹病期間の研究

作成日：2022 年 4 月 15 日

研究に参加される患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目

睡眠時無呼吸症候群における早期脳画像診断と罹病期間の研究

研究期間

2018 年 10 月 9 日 ~ 2025 年 12 月 31 日

対象患者

医療法人社団玉栄会 東京天使病院で睡眠時無呼吸症候群（SAS）と診断された患者さん

対象期間

1999 年 1 月 1 日 ~ 2017 年 12 月 31 日

研究機関の名称

島根県立中央病院、東京天使病院、広島総合病院、島根大学脳神経外科

研究代表者

脳神経外科 井川 房夫

意義・目的

過労死の原因の 18.4%はくも膜下出血とされ、ストレスが虚血性脳血管障害に関与する報告もありますが、脳血管とストレス関与について、それを裏付ける情報が少ないです。

SAS は、睡眠障害による高ストレスの代表疾患であり、SAS と脳および脳血管におよぼす影響について検討することを目的とします。

研究の方法（試料・情報の利用方法・他施設からの提供を受ける方法を含む）

対象患者さんにおいて、「利用・提供する試料・情報の項目」に示す情報について、医療法人社団玉栄会 東京天使病院より当院へメールで提供頂きます。個人を特定できる情報は収

集しません。MRI、MRA 異常所見を目的変数とし、その危険因子について解析します。

利用・提供を受ける試料・情報の項目

年齢、性別、簡易検査※1 日、簡易検査結果、PSG 検査日、睡眠時無呼吸症候群の所検査結果（睡眠ポリグラフ検査結果、経鼻的持続陽圧呼吸療法開始日、罹患日数、肥満指数値、肥満指数分類、身長、体重、無呼吸低呼吸指数値、無呼吸低呼吸指数分類、エスワープ眠気尺度）、収縮期血圧、拡張期血圧、MRI 検査日、MRI 施行回数、MRI 装置（テスラ）、MRI 検査異常有無、脳室周囲高信号分類、深部白質高信号分類、脳萎縮有無、MRI 異常所見、MRA 有無、MRA 異常有無、脳動脈瘤有無、脳動脈瘤部位、脳動脈瘤サイズ、血管狭窄有無、血管狭窄部位、血管狭窄率、MRA 異常所見、副鼻腔炎、肥満、高血圧、高脂血症、糖尿病、花粉症、うつ病、眠剤、新規高血圧、罹患までの期間、高血圧罹患日、脳卒中有無、脳卒中種類、脳卒中発症日、神経所見有無、modified Rankin scale、ストレス評価指数 等
※1 簡易検査：自宅で取扱い可能な検査機器を使用して、無呼吸の有無やその頻度を調べる検査。

個人情報の保護

当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。

結果の公表

2022 年頃に投稿論文として公表する予定です。

お問い合わせ先

島根大学医学部
脳神経外科 内村 昌裕
電話：0853 - 20 - 2386

研究代表者

島根県立中央病院
脳神経外科 井川 房夫
電話：0853 - 22 - 5111

共同研究機関の研究責任者

島根大学医学部 内村昌裕
医療法人社団玉栄会 東京天使病院 玉谷青史
広島総合病院 脳神経外科 松田真伍